

「Omsis Way」

～「自己決定理論」に基づいた独自の教育アプローチ～



学びをボーダレスに！



Mission : 学びをボーダレスに！

私たちは、「学びをボーダレスに！」を社会におけるMissionとし、お子様の世界観と可能性を広げるサポートをしていきたいと考えています。また、3つの視点から学びのボーダレス化に取り組んでいます。

Community

1. 新たなコミュニティ

学校や家庭を超え、親しみの持てる身近な人やコミュニティの存在は、時にお子様の成長に大きな影響をあたえます。共に学ぶ機会を通じ、お子様方に新たな居場所を作ります。

Exposure

2. 世界との触れ合い

普段目にする学習内容を超え、世界各国の文化、風習、歴史や時事問題など、幅広いコンテンツと触れ合う機会を創ります。多様なバックグラウンドを持つロールモデルとの出会いも、広い世界との接点と考えています。

Approach

3. 意欲向上へのアプローチ

学ぶ上で一番大切なことは続けること。学びの継続に重要なことは、モチベーション（内発的な動機付け）です。楽しさ、心理的な安心感や達成する喜びなど、内なる意欲向上に働きかけるアプローチを探求し導入します。

2つの学びの機会

お迎えシスター



”お子様にロールモデルを！”

<https://omsister.com/>

dot.school



”21世紀型の生きる力を！”

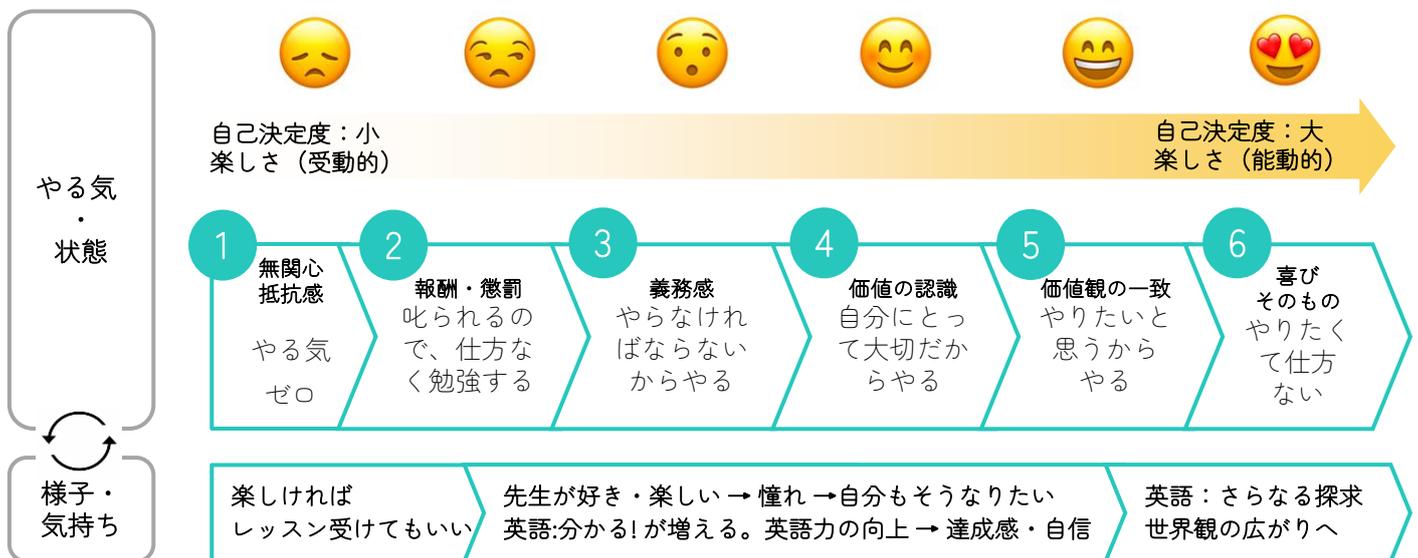
*現在、イベント形式にて開催。
(詳細はお問い合わせください。)

お子様の成長を願う保護者の皆様へ

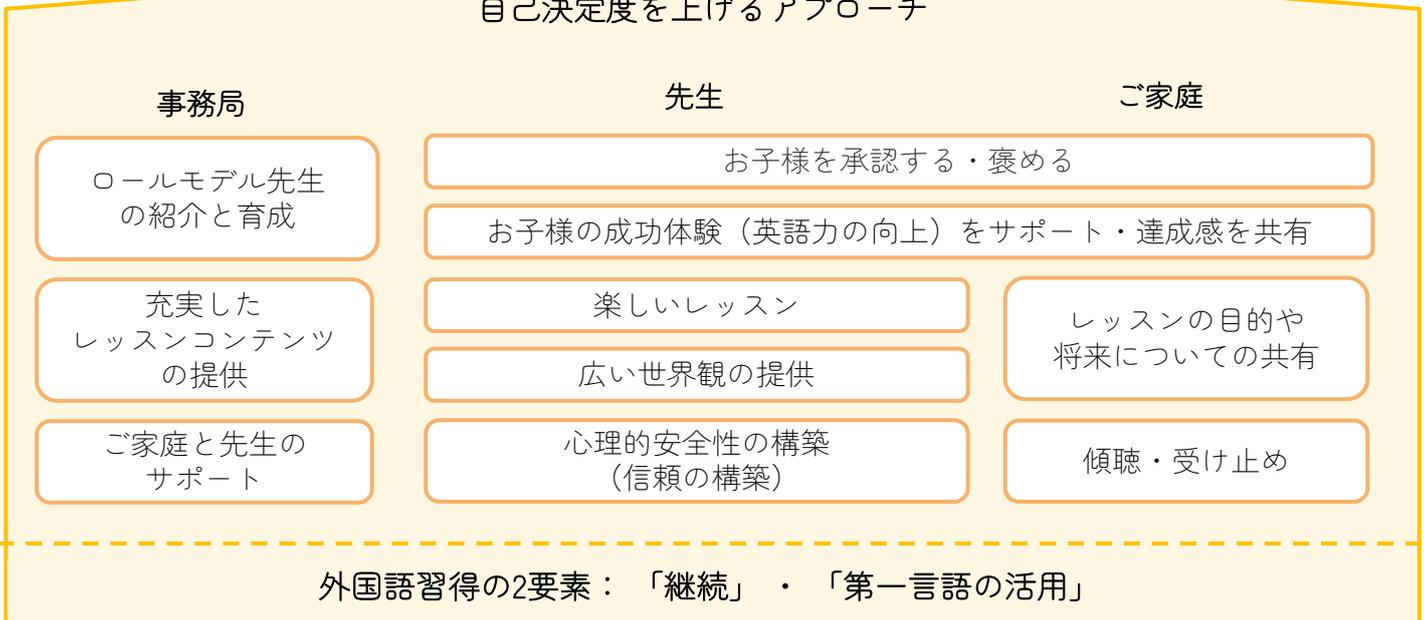
私たちは、親御様や先生方と一丸となり、**お子様の世界観と可能性を広げる** サポートをしていきたいと思っています。学習の定着や向上には、モチベーション（内発的な動機付け）が大きく影響することが「自己決定理論」*の研究などでも述べられていますが、一方で、日本の環境下で英語を学習する子供達の多くが、外発的要因により英語学習に取り組まざるを得ず、英語嫌いが低年齢化している現場の声も耳にします。お迎えシスターでは、レッスンを通じ、英語の習得だけでなく、**学びの基盤となるお子様の内なる意欲向上に働きかけていくことこそ、とても重要であると考えています。**このご案内では、お迎えシスターが掲げるミッションと合わせ、お子様方の意欲向上への私達のこだわりを、「Omsis Way」としてご案内さしあげます。是非、ご一読ください。（*Self-Determination Theory By Lyan & Deci ,2000）

Omsis Way

「自己決定理論」に基づいたお迎えシスターのアプローチ



自己決定度を上げるアプローチ



01 お子様の自発性に働きかける、楽しいレッスン

お子様が英語への抵抗感をなくし慣れ親しんでいただく為に、大好きな「ロールモデル先生」と**楽しい時間を過ごすこと**が大切だと考えています。

お子様のモチベーション熟成への働きかけを何より重視し、強制的な学習は行いません。英語を嫌いになってしまっただけでは本末転倒だからです。そのため、各お子様のレベルや状況に合わせて、興味関心のある内容に真剣に取り組み、楽しく学べる方法を見つけていきます。どうしてもモチベーションが低い時期は、意欲回復のためレッスンを一時中断し、レッスン時間中に先生もしくはスタッフがきちんとお子様と向き合って話し合いをすることもあります。

02 多様なロールモデル先生との出会い・信頼関係

お子様方の将来の為、自分の一歩二歩先を歩む、**様々なバックグラウンドのロールモデル先生との出会いは、新たな価値観や視点を吸収していく上でとても大切だと考えています。**

出会いを通じ、自分たちのロールモデルを持ってもらうことで、学習意欲が高まるだけでなく、未来にむけより多くの選択肢につながると信じています。新たな先生との出会いが、お子様にとって、負担なく、スムーズに信頼関係が築けるよう、丁寧に引き継ぎに取り組んでまいります。

03 “承認”と”褒めること”の大切さ

どんなお子様にとっても、**親御様や先生からの言葉には大きな影響力があります。**

毎週のレッスンでは、学習そのものの成果や結果だけでなく、**レッスンに向き合う姿勢、学習に取り組む過程での努力、挑戦や工夫した点など**に対しても、目を向けたいと考えています。認められた、褒められたという経験が、お子様の内から湧きでるモチベーションに繋がると信じていますので、親御様からも是非お声がけをお願いいたします！

04 ご家庭でのお話しと傾聴のお勧め

英語の習得が、**将来どんな風に役に立つのか、それが本人にとってなぜ意味のあることなのか**を、親御様からお伝え下さい。お子様がそれらを思い出せるよう、繰り返し伝えていただけますと幸いです。また逆に、お子様のお話はどのような内容であろうと、是非耳を傾け一旦すべてを聞いてあげてください。**傾聴は、信頼関係構築の土台でもあり、お子様の自己肯定感を築く素地ともなります。**

05 継続の重要性

語学は触れている時間に比例して伸びていきます。そのため、**非英語圏で英語を習得するには時間がかかります。**語学習得の成果はすぐには出ないため、お子様が自然と話し出す瞬間をグッと待つ必要があります。また、長期的な視点からみると、**学びの継続にはお子様自身の自発性が鍵となります。**私たちは、レッスンを通じ、お子様の心に火を灯せる工夫を様々な視点から試みてまいります。

06 英語学習における日英バイリンガルアプローチ

特に、英語初心者のお子様にとっては、聞き慣れない言語のみでのレッスンより、慣れた第一言語を部分的に取り入れることで、理解度が増し、お子様の発話数が増えるだけでなく、先生との信頼関係の構築へも繋がることが近年の研究で明らかになっています。**語学学習は、心理的な安心感が非常に大切です。**お子様の英語に対する抵抗感をなくせるよう、お迎えシスターでは、適切に日本語も活用いたします。*別紙「言語学習における母国語使用のメリットについて」もご参照ください。

語学学習では、母国語の活用により学習効果が上がる！？



え？ 本当！？

はい。最近の研究から、外国語学習では、母国語の適切な使用が効果的である
・・・とする報告が多くなされています。



お迎えシスターのレッスンでは、日本語も適切に活用いたします

長い間、母国語の使用は外国語学習に悪い影響を与えると考えられていました。しかし、近年、世界中で行われている実証研究の結果から、母国語使用は外国語学習に役立つことも明らかになってきました。依然として、明確な答えはありませんが、お迎えシスターでは、これらの研究結果と経験に基づき、適切に日本語を活用することにより、お子様に負担が少なく、より実りあるレッスンの実施に取り組みます。

【1】お子様が自分の意見・意思を正確に表現できる

第二言語より、母国語の語彙力や表現力の方が豊富なケースが多いため、母国語の方が自分が伝えたい内容をより具体的に表現できます。外国語コミュニケーション意欲に関する研究の第一人者の一人であるMacIntyre et al. (1998)によると、外国語でコミュニケーションできるようになるためには、それ以前に自分の意見を発信しようという意欲や自信が必要と述べています。実際、弊社でのレッスンにおけるお子様の様子を見てみると、母国語の使用を極度に制限することは、第二言語に対する不安や英語嫌いを誘発し、モチベーション低下につながることが明らかになっています。また、この背景として、特に初心者は自信を持って正確に自分の思いを伝えることが難しいことが挙げられます (Seng and Hashim, 2006)。

【2】学習内容の定着・理解度向上 - 文法および語彙の解説において効果的

近年の研究では、母国語を使用することは、学習者の認知的な負担を減らすことができると共に、学習内容の定着を図るために大変有効であると考えられています。Lee and Levine (2020) や Lee and Macaro (2013) の研究によると、英語のみの授業と学習者の母国語を併用した授業の効果を比べたところ、後者の方が授業内容の理解および英語力向上 (語彙やリスニング力アップなど) に繋がりやすいとの結果が出ています。また、Shin (2006) によると、ビジュアルやジェスチャーを使っても理解ができない難しい言葉や概念は、時間をかけて無理に英語のみで説明しようとするよりも、学習者の母国語で説明した方が、先生も授業の時間をより有効的に使えたと述べています。

【3】お子様と先生の信頼関係のスムーズな構築

英語のインプットとアウトプットの量を十分に確保することはもちろん重要ですが、それ以前に生徒と信頼関係を築くことが英語スキルの継続的な向上に欠かせません。先生とお子様の間には共通言語があることで、お互いをより深く知ることができます。Bruen and Kelly (2017) の研究によると、共通言語の使用がレッスンの雰囲気や和ませる効果があると言われています。また、お迎えシスターの場合、英語で褒められるよりも、日本語 (母国語) で褒められる方が、お子様によっては心に響きやすく、モチベーション維持につながりやすいことも多く確認されています。